

# WebSAM DeploymentManager Ver6.3

## SQL Server 2012へのアップグレード手順書

—第 2 版—

## 改版履歴

版数	改版日付	改版内容
2	2014/09/03	SQL Serverの参照先URLに補足を追加しました。
1	2014/02/03	新規作成

## 目次

1. 使用しているデータベースをSQL Server 2012へアップグレードする手順.....	5
2. SQL Server 2012にデータベースを構築する手順.....	7
2.1. データベースの作成.....	7
2.2. DPMサーバのインストール.....	7
3. アンインストール.....	8

## 商標について

- ・ WebSAMIは日本電気株式会社の登録商標です。
- ・ Microsoftは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## はじめに

本書は、WebSAM DeploymentManager Ver6.3(以降、DPM)で使用しているデータベースをSQL Server 2012へアップグレードする手順、およびSQL Server 2012にDPMで使用するデータベースを構築する手順について説明します。なお、対応しているエディションは、SQL Server 2012 Express/Standard/Business Intelligence/Enterpriseとなります。

### ヒント

- 本書で説明しているインストール手順以外は、「インストレーションガイド」を参照してください。以下の製品サイトから、最新版を入手できます。  
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>
- SigmaSystemCenter、VirtualPCCenter に同梱している DPM を使用している場合は、以下のSigmaSystemCenter の製品サイトも参照してください。  
<http://jpn.nec.com/websam/sigmasytemcenter/>

# 1. 使用しているデータベースを SQL Server 2012 へアップグレードする手順

本章では、使用しているデータベースをSQL Server 2012にアップグレードする手順について説明します。

## 注意

アップグレード前にMicrosoft社のページ(以下)を参照して、システム要件、注意事項などを確認しておいてください。

- ・バージョンをアップグレードする場合  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267.aspx>  
(SQL Server 2012専用のページがある場合は、そちらを参照してください。)
- ・上位エディションにアップグレードする場合  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc707783.aspx>  
(SQL Server 2012専用のページがある場合は、そちらを参照してください。)

- (1) データベースがインストールされたマシンに、管理者権限を持つユーザでログオンします。
- (2) データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、本手順は必要ありませんので(3)へ進んでください。  
DPM サーバと同一マシン上にデータベースを構築している場合は、「スタート」メニューから「管理ツール」→「サービス」を選択し、「DeploymentManager」で始まる名前のサービスをすべて停止します。
- (3) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、アップグレードを行ってください。
  - ・バージョンをアップグレードする場合  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267.aspx>  
(SQL Server 2012 専用のページがある場合は、そちらを参照してください。)
  - ・上位エディションにアップグレードする場合  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc707783.aspx>  
(SQL Server 2012 専用のページがある場合は、そちらを参照してください。)

**注意**

- x64 OS上で使用しているSQL ServerのExpressエディション(x86)をSQL Server 2012 Expressにアップグレードする場合は、SQL Server 2012 Expressのインストーラは、MicrosoftダウンロードセンターからSQLEXPRESS\_x86(x86/x64両方のOSへインストールできるもの)を使用してください。  
また、インストーラを実行する際は、コマンドプロンプトで「/X86」オプションを付けて実行してください。
- 「SQL Server インストールセンター」の設定内容については、以下に注意してください。
  - 「オプション」画面:「プロセッサの種類」で"x86"を選択してください。  
(x64 OS上のSQL Server(x86)をSQL Server 2012にアップグレードインストールする場合のみ)
  - 「インスタンスの選択」画面: DPMのインスタンスを選択してください。
- アップグレードインストール時に以下のメッセージが表示された場合は、下記に記載の[対処方法]を実施してください。

[メッセージ]

次のエラーが発生しました:

パス 'C:\Program Files\Microsoft SQL Server\110\License Terms\

SQLServer2012(SP1)\_License\_ENT\_1041.rtf'へのアクセスが拒否されました。

[再試行] をクリックしてやり直すか、[キャンセル] をクリックしてこの操作を取り消し、セットアップを続行してください。

[対処方法]

上記のメッセージに表示されたファイルのプロパティを表示して、属性の「読み取り専用」チェックボックスのチェックを外してください。その後、「再試行」をクリックして、アップグレードを続行してください。

- (4) データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、本手順は必要ありません。  
DPM サーバと同一マシン上にデータベースを構築している場合は、(2)で停止したサービスをすべて開始します。

以上で、SQL Server 2012へのアップグレードは完了です。

## 2. SQL Server 2012 にデータベースを構築する手順

本章では、SQL Server 2012をインストール済みのマシンにDPMサーバ、およびデータベースを構築する手順について説明します。

### ヒント

データベースサーバ(SQL Server 2012をインストール済みのマシン)上にDPM用のデータベースを構築し、別のマシン上にDPMサーバをインストールする場合は、「インストールガイド 2.1 DPMサーバをインストールする」、および「インストールガイド 付録 D データベースサーバを構築する」を参照してください。

### 2.1. データベースの作成

データベースの作成手順について説明します。

- (1) データベースを作成するマシンに、管理者権限を持つユーザでログインします。
- (2) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、データベースを作成してください。  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143219.aspx>  
(SQL Server 2012 専用のページがある場合は、そちらを参照してください。)

### 注意

「SQL Server インストールセンター」の設定内容については、以下に注意してください。

- ・「機能の選択」画面:「データベース エンジン サービス」と、「SQL Server レプリケーション」にチェックを入れてください。
- ・「インスタンスの構成」画面: インスタンス名(任意)を入力してください。
- ・「データベース エンジンの構成」画面:「サーバーの構成」タブで、以下の設定を行ってください。
  - 「認証モード」は、「Windows 認証モード」を選択してください。
  - 「SQL Server 管理者の指定」は、「現在のユーザーの追加」ボタンをクリックして指定してください。

- (3) コマンドプロンプトを起動して、下記コマンドを実行します。  
(以下のコマンドは、表記の都合上複数行で記載していますが、1行で入力してください。)

```
SQLCMD.EXE -E -S "¥ インスタンス名" -Q "alter server role [sysadmin] add member [NT AUTHORITY¥SYSTEM]"
```

例)

```
SQLCMD.EXE -E -S ".¥DPMDBI" -Q "alter server role [sysadmin] add member [NT AUTHORITY¥SYSTEM]"
```

### 2.2. DPM サーバのインストール

「インストールガイド 2.1 DPMサーバをインストールする」を参照して、DPMサーバをインストールしてください。

### 注意

手順(10)-2)では、インストール済のSQL Serverのアーキテクチャ、およびインスタンス名を指定してください。

以上で、データベースの構築は完了です。

### 3. アンインストール

本章では、前章までの手順で構築した環境から、データベースのみをアンインストールする手順について説明します。データベース以外のコンポーネントについては、「インストレーションガイド」を参照してください。

#### 注意

- データベースをアンインストールする前に以下を参照して、注意事項などを確認しておいてください。  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143412.aspx>  
(SQL Server 2012 専用のページがある場合は、そちらを参照してください。)
- データベースをアンインストール後に DPM サーバをアンインストールすると、以下の画面が表示されます。  
動作上問題ありませんので、「OK」ボタンをクリックして、アンインストールを進めてください。



#### ヒント

- DPM サーバのアンインストールと、DPM サーバと同一マシンに構築したデータベースと一緒にアンインストールする場合は、「インストレーションガイド 4.2 DPM サーバをアンインストールする」を参照してください。
- データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、「インストレーションガイド 付録 D データベースサーバを構築する」の「■ データベースをアンインストールする」を参照してください。

- (1) DPM サーバをインストールしているマシンに、管理者権限を持つユーザでログオンします。
- (2) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、インスタンスをアンインストールしてください。  
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143412.aspx>  
(SQL Server 2012 専用のページがある場合は、そちらを参照してください。)
- (3) 以下フォルダ配下のファイルをすべて削除してください。
  - ・新規に SQL Server 2012 をインストールした場合  
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL11. **インスタンス名**\MSSQL\Data
  - ・SQL Server 2008/SQL Server 2008 R2 から SQL Server 2012 へアップグレードインストールした場合  
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL10\_50.DPMDBI\MSSQL\Data
  - ・SQL Server 2005からSQL Server 2012へアップグレードインストールした場合  
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL.**x**\MSSQL\Data  
※xには、インスタンス数の数値が入ります。

以上で、データベースのアンインストールは完了です。